

高知市社会福祉協議会 障害者福祉センター

こうち Kochi Normalization ノーマライゼーション

2025.3
vol.50

CONTENTS

特集

共に楽しく生きる
～安心して活動できる「居場所」～

.....①～⑧

防災コラム「命をつなぐ ～聴覚障害の防災士として～」.....⑨

年間行事予定／編集後記.....⑩

「ほんとにあった障害者あるある4コマ漫画」／インフォメーション.....⑪

共に楽しく生きる ～安心して活動できる「居場所」～

誰もがいきいきと暮らすために必要な「居場所」。
みんなが集う場所に、あなたも参加してみませんか？

集いの場とは

高齢化・人口減少社会の到来とともに、核家族化による家族関係の希薄化や世帯規模の縮小、地域のつながりの希薄化などにより、寂しさや不安を抱えて暮らす人が増えている。

そんな中、住民同士が「気軽に」「無理なく」交流できる場が必要とされており、さまざまな「集いの場」が地域に生まれている。

地域共生社会と障害者

誰一人取り残さない地域社会を作っていくためには、全ての人々が持つ力を最大限発揮することが求められており、支援する人・される人という関係性は過去のものになりつつある。障害者や高齢者だから何かをしてもらうのではなく、自分で出来ること・出来ないこと、手伝えること・手伝ってもらいたいことを意思表示することが地域共生社会の実現のためには必要であり、今後の課題であるといえる。



障害のある方と集いの場

障害のある方の集いは、公的機関等が主催する集いの場や、障害の当事者や家族など有志によるサークル活動などが主体であった。

しかし、障害を理由とした差別を禁止したり、社会的なバリアを取り除くこと、障害に関する啓発や知識を広げる取り組みを行うことなどが法制化され、社会の中で当たり前のように障害のある方も一緒に活動できる場が増えてきた。それは、日常生活やサービスを受ける場面はもちろんだが、集いの場にも影響を及ぼしてきている。


ノーマライゼーションな集いの場

障害やその他社会的なマイノリティを含め、すべての人が普通（ノーマル）に生活ができる、皆が当たり前に出ることが出来る環境を作ることが「ノーマライゼーション」の基本的な考え方である。様々な配慮や気づかいを、自然にかつ当たり前にできる環境を作ること、物理的なバリアはもちろん、心のバリアフリーも実現していけるのではないかな。

そんなノーマライゼーションな集いの場を少しご紹介します。


陶芸サークル ドリーム



活動場所	高知市障害者福祉センター 2階創作活動室(旭町2丁目21番地6)
開催日時	月1回(基本は第1木曜日。祝日の場合は変更あり) 18:30~20:30
参加条件	特になし
参加費	1回1,000円(半年分を前納) ※作る作品によって土代が別途必要になります。
連絡先	障害者福祉センター事務局(088-873-7717)へ。
	自由にみんなで作陶しています! まずは見学から!お気軽にご連絡ください。


華道サークル



活動場所	高知市障害者福祉センター 2階創作活動室(旭町2丁目21番地6)
開催日時	毎月第1、3月曜日 13:30~15:30
参加条件	特になし
参加費	1回 750円~1,000円程度(花代)
連絡先	代表・講師 森本みどり 090-4975-8453
	季節の花を参加者それぞれの感性で楽しく生けています。 見学も出来ますので、お気軽にご連絡ください。


手話サークル ゆびの会



活動場所	①高知市障害者福祉センター（旭町2丁目21番地6） ②、③小高坂更生センター（越前町2丁目4-5）
開催日時	①第1、3、5土曜日 13:00～17:00 ②第2、4土曜日 13:00～17:00 ③毎週水曜日 18:30～20:30
参加条件	手話や聴覚障害に興味のある方ならどなたでも。
参加費	年会費 一般3,000円 障害者手帳をお持ちの方500円 大学生1,000円 高校生以下 無料
連絡先	088-843-3603
 聴覚障害者の豊かな手話、熱い語りを見ることができます。その背景を知り、理解しながら「自分自身も社会活動に参加している」と一緒に感じてみませんか？	

スポーツ 吹き矢同好会



活動場所	高知市障害者福祉センター（旭町2丁目21番地6）
開催日時	毎月1回いずれかの日曜日 13:30～16:00
参加条件	安全についてのルールが守れること。
参加費	無し（初回のみマウスピース購入のため150円が必要）
連絡先	開催日、見学の相談等は障害者福祉センター（088-873-7717）へ
 腹式呼吸で心身を整えてみませんか？ 当日直接会場にお越しください。	

高知県 ボッチャたのしむ会

活動場所	高知県障害者福祉センター (旭町2丁目21番地6)
開催日時	第2、4木曜日 13:00～16:00
参加条件	特になし
参加費	無料
連絡先	開催日、見学の相談等は障害者福祉センター(088-873-7717)へ

ユニバーサルスポーツ

ボッチャは性別や年齢、世代、障害の有無を問わず、誰もが参加できる競技です。練習には入会していない方でも飛び入り参加ができるようにしており、皆が楽しめる環境づくりをしています。
お気軽にご参加ください。



ボッチャとは


イタリア語で「ボール」を意味する言葉。
元々は重度の身体障害を持つ方のために考案されたスポーツですが、老若男女・障害の有無に関わらず、同じルールで勝負ができるため「ユニバーサルスポーツ」とも呼ばれています。




ボッチャの広がり

高知市内でもボッチャを定期的で開催しているグループが増えてきています。お住いの近くでも開催されている可能性がありますので、詳しくは障害者福祉センター(088-873-7717)までご連絡ください。見学等のつなぎをさせていただきます。

障害のある方のための 文化教室

教室名	①さをり織り教室 ②書道教室 ③陶芸教室
活動場所	高知市障害者福祉センター（旭町2丁目21番地6）
開催日時	①第1土曜日 13:30～15:30 ②第3土曜日 13:30～15:30 ③第1もしくは第2金曜日 10:00～12:00
参加条件	高知市在住で障害のある方 各講座定員10名で、空きがあれば参加可能です。
参加費	無料（材料費の実費負担があります）
連絡先	障害者福祉センター（088-873-7717）へ
 まずはお気軽に見学からお越しください。 詳しい日程等についてもお問い合わせください。	

教室名	①書道教室 ②陶芸教室
活動場所	高知市南部健康福祉センター（百石町3丁目1-30）
開催日時	①第1土曜日 13:30～15:30 ②第1もしくは第2火曜日 10:00～12:00
参加条件	高知市在住で障害のある方 各講座定員10名で、空きがあれば参加可能です。
参加費	無料（材料費の実費負担があります）
連絡先	障害者福祉センター（088-873-7717）へ
 まずはお気軽に見学からお越しください。 詳しい日程等についてもお問い合わせください。	



その他さまざまな文化教室



料理教室



プラモデル教室



絵手紙教室



パソコンを使った教室



さまざまな文化教室を企画して、開催しています。
参加の希望など障害者福祉センター（088-873-7717）までお気軽にお問い合わせください。

障害者福祉センター文化祭のご紹介

障害者福祉センターでは、「日頃の創作を発表する場」として、「新たな気付きを生む場」として、「自分自身の何かを表現する場」として、毎年秋に文化祭を開催しています。
令和7年は節目の10回目。**11月23日(日・祝)の開催を予定しています。**
ぜひご来場をお待ちしております。



■ 社会参加とは何か

「社会参加」の言葉の意味としては、「社会の中で何らかの役割を果たすこと」である。一般的にイメージされるのは、仕事をすることや地域活動への参加、ボランティア活動などであろうか。しかし、広義の「社会参加」には自身の趣味活動も含まれている。趣味の習い事をする、友人と一緒に旅行へ行くのも「社会参加」である。まず自分に合う趣味や居場所を見つけ、そこに行くことが最初の大きな一歩となるのである。

■ 「集う」ことの必要性

様々な活動に参加することで、体と心の健康維持が図れることが大きな意味であろう。障害のある方を含め、人は老化による筋力の低下や注意力の低下を避けることはできないが、「集う」ことによって、それを遅らせることは可能である。また、積極的に人と関わる、会話をするなどによって、孤独感が薄れ、心が沈んでしまう状態も防ぐことができる。

■ 今後の課題と展望

これからも集いの場所は増えていこう。それは社会のニーズと、集うことの意味が認識されてきているからである。

しかし、障害のある方が集うことを考えた時に、心と体のバリアフリーが課題となってくる可能性は高い。集いを運営する中での障害理解と、自然で無理のない配慮が提供できるかどうかである。

また、趣味をするのであれば、「相性」の問題が大きな要因となってくるのも現実である。趣味の「相性」はもちろん、人との「相性」、場所の「相性」なども重要な要素である。同じ趣味であっても複数グループが存在し、自分に合ったグループを選択できる環境があれば、集いの幅は広がっていくであろう。

■ まとめとして

集いの場を運営する方には、障害理解と自然で無理のない配慮をしてもらいたい。障害のある方は、いろんな集いに参加してもらいたいし、場合によっては、集いを主催していただきたい。その方が、自然な配慮ができる可能性もあるし、やりたいこともやりやすいのではないか。

趣味などを通じた集いの場には、「ノーマライゼーション」を自然に実現するための仕組みが詰まっている。

障害者福祉センター及び高知市社会福祉協議会では、集いの場づくりの支援を行っています。「こんな趣味をやってみたい」、「自分の好きな趣味のサークルを作りたい」などの希望があれば、実現するための相談にこれからも乗っていきますので、お気軽にご連絡ください。



聞こえない防災士として

高知県聴覚障害者協会 理事 藤田 由紀子

全ては「知る」ことから始まる。

なんでも「知る」と「知らない」とでは全く違う。しかも聞こえないという事で情報の量が限られてくる。無知のままでは私にとって歯がゆく不安要素でもあった。手話通訳を介して得る情報は自身の選択肢の幅を広げ自己判断・自己決定に繋がると感じている。防災士獲得もその一つであった。当時、四国以外には聞こえない防災士がたくさんいる中、四国では1人もいなかった。また阪神淡路大震災をはじめ東北震災、能登半島震災といった大規模な震災の体験者や支援者の仲間の声を聞いたこと。これらの事をきっかけに必ずくるであろう南海トラフ大震災についてきちんと知識をつけ備えなければ。そう思っただけだった。手話での情報保障も形となっていなかったが、何度も聞こえない人がチャレンジしたことによって聴覚障害者への配慮も良い方向に変化した。これも相手に「知って」もらったからだと思う。今や高知県では聞こえない防災士が5人になり、後に続く後輩も増え、手話関係者や学習者も防災士資格を取得した者が増えた。この知識が減災につながると思う。

阪神淡路大震災時は避難所での配給に気づかず食事すらままならなかった聞こえない仲間たち。東北大震災では津波による仲間の死亡率が高かった。情報がない中での避難・避難生活は大変なものだ。自分自身が情報や知識を持っていればまた違った行動を取ることができたのではないか？



残念ながら聞こえないことを理解する人はまだまだ少ない。

自分自身が防災士になり、聞こえない特性を知ってもらい、一緒に考えていける場を作りたい。同時に自分たちも災害について学習し、災害時に周りの人と一緒に動くことができればと思う。私たちの障害の特性を「知って」いただきたいし、私たちも他の障害の特性を「知る」災害を「知る」そうやってお互いに助け合う（共助）ことができれば願う。これからも「知る」ことに貪欲な自分でありたい。



障害者福祉センター 年間行事予定

高知市社会福祉協議会 障害者福祉センター

住 所：高知市旭町2丁目21-6

電 話：088-873-7717

F A X：088-873-6420

E-mail：asahi@kochi-csw.or.jp



2025年4月～2026年3月

開催予定日・期間	行事名称	対 象	備考（募集期間・開催場所等）
(通年) 2025年4月～2026年3月	出張手話講座	高知市在住または 在学、在勤で10名以上の グループや団体	募集締切：派遣希望日の30日前までに 開催場所：申込みをされたグループ、 団体でご準備をお願いします
2025年5月10日(土) 13:30～16:30	障害のある方の運転教室	18歳以上で高知市在住の 肢体に障害のある方	募集期間：4月7日(月)～4月25日(金) 開催場所：高知県運転免許センター
2025年6月7日(土) 10:00～14:00	チャレンジ料理教室①	高知市在住で障害のある方	募集期間：5月7日(水)～5月30日(金) 開催場所：高知市障害者福祉センター
2025年8月1日(金) ～8月27日(水) 水・金曜日 18:30～20:30 全8回	はじめての手話講座 (夜コース)	小学生以上で高知市在住 または在学、在勤の方	募集期間：7月3日(木)～24日(木) 開催場所：高知市障害者福祉センター
2025年8月22日(金) ～11月14日(金) 13:30～15:30 全6回	はじめての絵手紙教室	高知市在住で障害のある方	募集期間：6月3日(火)～8月14日(木) 開催場所：高知市障害者福祉センター
2025年8月23日(土) 13:00～16:00	作る!楽しむ! プラモデル体験教室	小学生以上で高知市在住の 障害のある方	募集期間： 障害のある方 7月3日(木)～8月14日(木) ※一般 8月1日(金)～8月14日(木) ※定員に空きがある場合のみ 開催場所：高知市障害者福祉センター
2025年10月11日(土) 午前 10:00～12:30	自動車運転支援者講座	作業療法士等、自動車運転に係る 支援者の方	募集期間：9月3日(水)～9月26日(金) 開催場所：高知県運転免許センター
2025年10月11日(土) 午後 13:30～16:30	障害のある方の運転教室	18歳以上で高知市在住の 肢体に障害のある方	募集期間：9月3日(水)～9月26日(金) 開催場所：高知県運転免許センター
2025年10月25日(土) 10:00～14:00	チャレンジ料理教室②	高知市在住で障害のある方	募集期間：10月3日(金)～10月17日(金) 開催場所：高知市障害者福祉センター
2025年11月23日(日・祝) 10:00～15:00	第10回障害者福祉センター 文化祭	どなたでも参加可	実施予定行事・作品展、屋台コーナー ・陶芸素焼き皿絵付け体験 ・プラモデル作り体験 等
2025年12月13日(土) 10:00～12:00	パソコンで年賀状を作ろう 体験教室	高知市在住で障害のある方	募集期間：11月4日(火)～12月5日(金) 開催場所：高知市障害者福祉センター
2026年2月2日(月) ～3月2日(月) 各月・木曜日(祝日を除く) 13:30～15:30 全8回	はじめての手話講座 (昼コース)	小学生以上で高知市在住 または在学、在勤の方	募集期間：1月7日(水)～23日(金) 開催場所：高知市障害者福祉センター
2026年3月7日(土) 13:00～16:00	障害理解の基礎講座	高知市在住または在学、在勤の方	募集期間：2月3日(火)～20日(金) 開催場所：高知市障害者福祉センター

※開催予定は変更になる場合があります。



編集後記

今回いろいろな集いの場を取り上げましたが、まだまだご紹介できていない集いの場がたくさんあります。今後も機会を見つけてご紹介ができればと思っています。

突然ですがここで一句。

集いあう 新たな居場所に 都度出会う

(矢野田 三灯花)

ほんとにあった

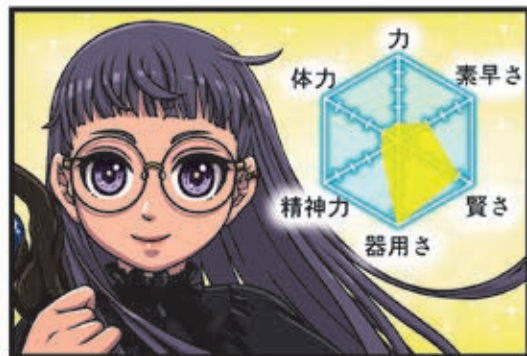
障害者あるある4コマ漫画

作：そら

道案内



RPG



＊インフォメーション＊

同封しておりますアンケートにご協力ください。お答えいただいた方の中から抽選で10名様に、高知市社協地域福祉推進キャラクター「ほおっちょけん」のグッズをお送ります。
※当選は発送をもってかえさせていただきます。
また、本誌を複数欲しい方がいらっしゃいましたら、障害者福祉センターまでご連絡ください。



■表紙

高知市社会福祉協議会 障害者福祉センター

Kochi Normalization

こうち

ノーマライゼーション

2025.3

vol. 50

CONTENTS

特集 共に楽しく生きる ～安心して活動できる「居場所」～ ……①～⑧

防災コラム「命をつなぐ 聴覚障害の防災士として」 ……⑨

年間行事予定／編集後記 ……⑩

「ほんとにあった障害者あるある4コマ漫画」／インフォメーション ……⑪

■ P1

特集 共に楽しく生きる ～安心して活動できる「居場所」～

誰もがいきいきと暮らすために必要な「居場所」。みんなが集う場所に、あなたも参加してみませんか？

集いの場とは

高齢化・人口減少社会の到来とともに、核家族化による家族関係の希薄化や世帯規模の縮小、地域のつながりの希薄化などにより、寂しさや不安を抱えて暮らす人が増えている。

そんな中、住民同士が「気軽に」「無理なく」交流できる場が必要とされており、さまざまな「集いの場」が地域に生まれている。

地域共生社会と障害者

誰一人取り残さない地域社会を作っていくためには、全ての人が持てる力を最大限発揮することが求められており、支援する人・される人という関係性は過去のものになりつつある。障害者や高齢者だから何かをしてもらうのではなく、自分で出来ること・出来ないこと、手伝えること・手伝ってもらいたいことを意思表示することが地域共生社会の実現のためには必要であり、今後の課題であるといえる。

障害のある方と集いの場

障害のある方の集いは、公的機関等が主催する集いの場や、障害の当事者や家族など有志に

よるサークル活動などが主体であった。

しかし、障害を理由とした差別を禁止したり、社会的なバリアを取り除くこと、障害に関する啓発や知識を広げる取り組みを行うことなどが法制化され、社会の中で当たり前のように障害のある方も一緒に活動できる場が増えてきた。それは、日常生活やサービスを受ける場面はもちろんだが、集いの場にも影響を及ぼしてきている。

ノーマライゼーションな集いの場

障害やその他社会的なマイノリティを含め、すべての人が普通（ノーマル）に生活ができる、皆が当たり前に出ることが出来る環境を作ることが「ノーマライゼーション」の基本的な考え方である。様々な配慮や気づかいを、自然にかつ当たり前にできる環境を作ること、物理的なバリアはもちろん、心のバリアフリーも実現していけるのではないか。

そんなノーマライゼーションな集いの場を少しご紹介します。

■ P2

[特集] ～安心して活動できる「居場所」～

陶芸サークル ドリーム

活動場所：高知市障害者福祉センター 2階創作活動室（旭町2丁目21番地6）

開催日時：月1回（基本は第1木曜日。祝日の場合は変更あり） 18：30～20：30

参加条件：特になし

参加費：1回1,000円（半年分を前納） ※作る作品によって土代が別途必要になります。

連絡先：障害者福祉センター事務室（088-873-7717）へ。

一言メッセージ：自由にみんなで作陶しています！まずは見学から！お気軽にご連絡ください。

華道サークル

活動場所：高知市障害者福祉センター 2階創作活動室（旭町2丁目21番地6）

開催日時：毎月第1、3月曜日 13：30～15：30

参加条件：特になし

参加費：1回 750円～1,000円程度（花代）

連絡先：代表・講師 森本みどり 090-4975-8453

一言メッセージ：季節の花を参加者それぞれの感性で楽しく生けています。見学も出来ますので、お気軽にご連絡ください。

■ P3

[特集] ～安心して活動できる「居場所」～

手話サークル ゆびの会

活動場所：①高知市障害者福祉センター（旭町2丁目21番地6）

②、③小高坂更生センター（越前町2丁目4-5）

開催日時：①第1、3、5土曜日 13:00～17:00

②第2、4土曜日 13:00～17:00

③毎週水曜日 18:30～20:30

参加条件：手話や聴覚障害に興味のある方ならどなたでも。

参加費：年会費 一般3,000円 障害者手帳をお持ちの方500円
大学生1,000円 高校生以下 無料

連絡先：088-843-3603

一言メッセージ：聴覚障害者の豊かな手話、熱い語りを見ることができます。その背景を知り、理解しながら「自分自身も社会活動に参加している」と一緒に感じてみませんか？

スポーツ吹き矢同好会

活動場所：高知市障害者福祉センター（旭町2丁目21番地6）

開催日時：毎月1回いずれかの日曜日 13:30～16:00

参加条件：安全についてのルールが守れること。

参加費：無し（初回のみマウスピース購入のため150円が必要）

連絡先：開催日、見学の相談等は障害者福祉センター（088-873-7717）へ

一言メッセージ：腹式呼吸で心身を整えてみませんか？当日直接会場にお越しください。

■ P4

[特集] ～安心して活動できる「居場所」～

高知県ボッチャたのしむ会

活動場所：高知市障害者福祉センター（旭町2丁目21番地6）

開催日時：第2、4木曜日 13:00～16:00

参加条件：特になし

参加費：無料

連絡先：開催日、見学の相談等は障害者福祉センター（088-873-7717）へ

一言メッセージ：ボッチャは性別や年齢、世代、障害の有無を問わず、誰もが参加できる競技です。練習には入会していない方でも飛び入り参加ができるようにしており、皆が楽しめ

る環境づくりをしています。
お気軽にご参加ください。

ボッチャとは

イタリア語で「ボール」を意味する言葉。

元々は重度の身体障害を持つ方のために考案されたスポーツですが、老若男女・障害の有無に関わらず、同じルールで勝負ができるため「ユニバーサルスポーツ」とも呼ばれています。

ボッチャの広がり

高知市内でもボッチャを定期的に行っているグループが増えてきています。お住いの近くでも開催されている可能性がありますので、詳しくは障害者福祉センター（088-873-7717）までご連絡ください。見学等のつなぎをさせていただきます。

■ P5

[特集] ～安心して活動できる「居場所」～

障害のある方のための文化教室

教室名：①さをり織り教室 ②書道教室 ③陶芸教室

活動場所：高知市障害者福祉センター（旭町2丁目21番地6）

開催日時：①第1土曜日 13:30～15:30

②第3土曜日 13:30～15:30

③第1もしくは第2金曜日 10:00～12:00

参加条件：高知市在住で障害のある方

各講座定員10名で、空きがあれば参加可能です。

参加費：無料（材料費の実費負担があります）

連絡先：障害者福祉センター（088-873-7717）へ

一言メッセージ：まずはお気軽に見学からお越しください。詳しい日程等についてもお問い合わせください。

教室名：①書道教室 ②陶芸教室

活動場所：高知市南部健康福祉センター（百石町3丁目1-30）

開催日時：①第1土曜日 13:30～15:30

②第1もしくは第2火曜日 10:00～12:00

参加条件：高知市在住で障害のある方

各講座定員10名で、空きがあれば参加可能です。

参加費：無料（材料費の実費負担があります）

連絡先：障害者福祉センター（088-873-7717）へ

一言メッセージ：まずはお気軽に見学からお越しください。詳しい日程等についてもお問い合わせください。

■ P6

[特集] ～安心して活動できる「居場所」～

その他さまざまな文化教室

料理教室

プラモデル教室

絵手紙教室

パソコンを使った教室

さまざまな文化教室を企画して、開催しています。

参加の希望など障害者福祉センター（088-873-7717）までお気軽にお問い合わせください。

■ P7

[特集] ～安心して活動できる「居場所」～

障害者福祉センター文化祭のご紹介

障害者福祉センターでは、「日頃の創作を発表する場」として、「新たな気付きを生む場」として、「自分自身の何かを表現する場」として、毎年秋に文化祭を開催しています。

令和7年は節目の10回目。11月23日（日・祝）の開催を予定しています。

ぜひご来場をお待ちしております。

■ P8

■ 社会参加とは何か

「社会参加」の言葉の意味としては、「社会の中で何らかの役割を果たすこと」である。一般的にイメージされるのは、仕事をすることや地域活動への参加、ボランティア活動などであろうか。しかし、広義の「社会参加」には自身の趣味活動も含まれている。趣味の習い事をする、友人と一緒に旅行へ行くのも「社会参加」である。まず自分に合う趣味や居場所を見つけ、そこに行くことが最初の大きな一歩となるのである。

■「集う」ことの必要性

様々な活動に参加することで、体と心の健康維持が図れることが大きな意味であろう。障害のある方を含め、人は老化による筋力の低下や注意力の低下を避けることはできないが、「集う」ことによって、それを遅らせることは可能である。また、積極的に人と関わる、会話をすることによって、孤独感が薄れ、心が沈んでしまう状態も防ぐことができる。

■今後の課題と展望

これからも集いの場所は増えていこう。それは社会のニーズと、集うことの意味が認識されてきているからである。

しかし、障害のある方が集うことを考えた時に、心と体のバリアフリーが課題となってくる可能性は高い。集いを運営する中での障害理解と、自然で無理のない配慮が提供できるかどうかである。

また、趣味をするのであれば、「相性」の問題が大きな要因となってくるのも現実である。趣味の「相性」はもちろん、人との「相性」、場所の「相性」なども重要な要素である。同じ趣味であっても複数グループが存在し、自分に合ったグループを選択できる環境があれば、集いの幅は広がっていくであろう。

■まとめとして

集いの場を運営する方には、障害理解と自然で無理のない配慮をしてもらいたい。障害のある方は、いろんな集いに参加してもらいたいし、場合によっては、集いを主催していただきたい。その方が、自然な配慮ができる可能性もあるし、やりたいこともやりやすいのではないかな。

趣味などを通じた集いの場には、「ノーマライゼーション」を自然に実現するための仕組みが詰まっている。

障害者福祉センター及び高知市社会福祉協議会では、集いの場づくりの支援を行っています。「こんな趣味をやってみたい」、「自分の好きな趣味のサークルを作ってみたい」などの希望があれば、実現するための相談にこれからも乗っていきますので、お気軽にご連絡ください。

■ P9

防災コラム

聞こえない防災士として

高知県聴覚障害者協会 理事 藤田 由紀子

全ては「知る」ことから始まる。

なんでも「知る」と「知らない」とでは全く違う。しかも聞こえないという事で情報の量が

限られてくる。無知のままにいることは私にとって歯がゆく不安要素でもあった。手話通訳を介して得る情報は自身の選択肢の幅を広げ自己判断・自己決定に繋がると感じている。防災士獲得もその一つであった。当時、四国以外には聞こえない防災士がたくさんいる中、四国では1人もいなかった。また阪神淡路大震災をはじめ東北震災、能登半島震災といった大規模な震災の体験者や支援者の仲間を聞いたこと。これらの事をきっかけに必ずくるであろう南海トラフ大震災についてきちんと知識をつけ備えなければ。そう思っただけのトライだった。手話での情報保障も形となっていなかったが、何度か聞こえない人がチャレンジしたことによって聴覚障害者への配慮も良い方向に変化した。これも相手に「知って」もらったからだと思う。今や高知県では聞こえない防災士が5人になり、後に続く後輩も増え、手話関係者や学習者も防災士資格を取得した者が増えた。この知識が減災につながると思う。

阪神淡路大震災時は避難所での配給に気づかず食事すらままならなかった聞こえない仲間たち。東北大震災では津波による仲間の死亡率が高かった。情報がない中での避難・避難生活は大変なものだ。自分自身が情報や知識を持っていればまた違った行動を取ることができたのではないか？

残念ながら聞こえないことを理解する人はまだまだ少ない。

自分自身が防災士になり、聞こえない特性を知ってもらい、一緒に考えていける場を作りたい。同時に自分たちも災害について学習し、災害時に周りの人と一緒に動くことができたらと思う。私たちの障害の特性を「知って」いただきたいし、私たちも他の障害の特性を「知る」災害を「知る」そうやってお互いに助け合う（共助）ことができたらと願う。これからも「知る」ことに貪欲な自分でありたい。

■ P10

障害者福祉センター

年間行事予定

2025年4月～2026年3月

高知市社会福祉協議会 障害者福祉センター

住 所：高知市旭町2丁目21-6

電 話：088-873-7717

F A X：088-873-6420

E-mail：asahi@kochi-csw.or.jp

開催予定日・期間

行事名称

対 象

備考（募集期間・開催場所等）

(通年) 2025年4月～2026年3月

出張手話講座

高知市在住または在学、在勤で10名以上のグループや団体

募集締切：派遣希望日の30日前までに

開催場所：申込みをされたグループ、団体でご準備をお願いします

2025年5月10日(土)

13:30～16:30

障害のある方の運転教室 18歳以上で高知市在住の肢体に障害のある方

募集期間：4月7日(月)～4月25日(金)

開催場所：高知県運転免許センター

2025年6月7日(土)

10:00～14:00

チャレンジ料理教室①

高知市在住で障害のある方

募集期間：5月7日(水)～5月30日(金)

開催場所：高知市障害者福祉センター

2025年8月1日(金)～8月27日(水) 水・金曜日

18:30～20:30 全8回

はじめての手話講座(夜コース)

小学生以上で高知市在住または在学、在勤の方

募集期間：7月3日(木)～24日(木)

開催場所：高知市障害者福祉センター

2025年8月22日(金)～11月14日(金)

13:30～15:30 全6回

はじめての絵手紙教室

高知市在住で障害のある方

募集期間：6月3日(火)～8月14日(木)

開催場所：高知市障害者福祉センター

2025年8月23日(土)

13:00～16:00

作る!楽しむ!プラモデル体験教室

小学生以上で高知市在住の障害のある方

募集期間：障害のある方 7月3日(木)～8月14日(木)

※一般 8月1日（金）～8月14日（木）

※定員に空きがある場合のみ

開催場所：高知市障害者福祉センター

2025年10月11日（土）午前

10：00～12：30

自動車運転支援者講座

作業療法士等、自動車運転に係る支援者の方

募集期間：9月3日（水）～9月26日（金）

開催場所：高知県運転免許センター

2025年10月11日（土）午後

13：30～16：30

障害のある方の運転教室

18歳以上で高知市在住の肢体に障害のある方

募集期間：9月3日（水）～9月26日（金）

開催場所：高知県運転免許センター

2025年10月25日（土）

10：00～14：00

チャレンジ料理教室②

高知市在住で障害のある方

募集期間：10月3日（金）～10月17日（金）

開催場所：高知市障害者福祉センター

2025年11月23日（日・祝）

10：00～15：00

第10回障害者福祉センター文化祭

どなたでも参加可

実施予定行事・作品展、屋台コーナー

・陶芸素焼き皿絵付け体験

・プラモデル作り体験 等

2025年12月13日（土）

10：00～12：00

パソコンで年賀状を作ろう体験教室

高知市在住で障害のある方

募集期間：11月4日（火）～12月5日（金）

開催場所：高知市障害者福祉センター

2026年2月2日（月）～3月2日（月）

各月・木曜日（祝日を除く）

13：30～15：30 全8回

はじめての手話講座（昼コース）

小学生以上で高知市在住または在学、在勤の方

募集期間：1月7日（水）～23日（金）

開催場所：高知市障害者福祉センター

2026年3月7日（土）

13：00～16：00

障害理解の基礎講座

高知市在住または在学、在勤の方

募集期間：2月3日（火）～20日（金）

開催場所：高知市障害者福祉センター

※開催予定は変更になる場合があります。

編集後記

今回いろいろな集いの場を取り上げましたが、まだまだご紹介できていない集いの場がたくさんあります。今後も機会を見つけてご紹介が出来ればと思っています。

突然ですがここで一句。

集いあう 新たな居場所に 都度出会う
(矢野田 三灯花)

■裏表紙

ほんとにあった

障害者あるある4コマ漫画

作：そら

インフォメーション

同封しておりますアンケートにご協力ください。お答えいただいた方の中から抽選で10名様に、高知市社協地域福祉推進キャラクター「ほおっちょけん」のグッズをお送ります。

※当選は発送をもってかえさせていただきます。

また、本誌を複数欲しい方がいらっしゃいましたら、障害者福祉センターまでご連絡ください。

こうちノーマライゼーション

発行：高知市社会福祉協議会 障害者福祉センター

2025.3

vol.50

〒780-0935 高知市旭町2丁目21-6

TEL：088-873-7717 FAX：088-873-6420

URL：<http://www.kochi-csw.or.jp/>

E-mail：asahi@kochi-csw.or.jp

■アンケート

障害者福祉センター宛

FAX 088-873-6420

こうちノーマライゼーション 読者アンケート

この度は、「こうちノーマライゼーション vol.1.50」をご覧いただき、ありがとうございます。

今後のよりよい誌面づくりのために、皆様からのアンケートを募集いたします。以下の質問にお答えいただき、FAX または郵送にて障害者福祉センターまでご送付ください。

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で10名様にほおちよけんグッズをお送りいたします。

なお、当選はグッズの発送をもって代えさせていただきます。

受付期間：令和7年12月末日

◆宛先◆

障害者福祉センター

住所：〒780-0935 高知市旭町2丁目21番地6

①住所・氏名・連絡先を教えてください。(グッズをご希望でない方は未記入でも結構です)

住 所 〒

氏 名

連絡先 ☎ () -

② 年齢を教えてください。

- 10歳未満
- 10歳代
- 20～30歳代
- 40～50歳代
- 60歳代以上

③ 本誌をどのようにして知りましたか。

- 学校・職場
- 市役所等の窓口

- 病院・施設の窓口や待合所
- その他

④ 本号で興味深かった記事を教えてください。(複数回答可)

- 表紙
- 特集 共に楽しく生きる ～安心して活動できる居場所～
- 防災コラム
- 年間行事予定
- ほんとにあった障害者あるある 4コマ漫画

⑤ 本誌へのご意見・ご感想、今後希望される特集・テーマ等がありましたら教えてください。

※本アンケートでご記入いただいた内容は、障害者福祉センターの事業に関わる目的のみに使用し、他の目的には使用いたしません。

ご回答ありがとうございました